

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	飯塚市役所	代表者名	片峯 誠
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職		担当者氏名	
住所	820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	事前打ち合わせで依頼した内容を理解しやすい形で講義していただいた点。 講義により管理職等の対象職員のオープンデータ公開への理解が深まった点。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年10月9日	13時00分	15時30分		150
3-2. 派遣場所	会場名	飯塚市役所		最寄駅	新飯塚駅
	所在地	飯塚市新立岩5番5号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 職員 (管理職、専門部会員)	人数 58 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	オープンデータを積極的に推進する必要がある「管理職員」や「当専門部会員」のオープンデータに対する知識が乏しい為、有用性への理解にまで至っていない。オープンデータを公開することにより「課題解決」や「業務効率化」が期待され、行政としてのメリットが生まれるにもかかわらず、「担当課の業務量が増える」などのマイナスイメージしか持たれていない。その結果、公開数が増えない状況である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	「管理職員」や「当専門部会員」のオープンデータに対する理解や積極的に取り組む意識への高揚を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータの可能性についての講義 (意義、定義、ルール、行政として活用するメリット)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータに対する理解が深まった (アンケートの結果により出席者の約8割が「理解できた」と回答) オープンデータへ取り組むことへの理解が深まった (アンケートの結果により出席者の約8割が「取り組む必要がある」と回答)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別途添付。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	全庁的なオープンデータの推進によるデータ公開数の増。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

